

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

ビオラ市ケ尾地域ケアプラザ

■ 事業報告

事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

当ケアプラザのエリアは青葉区の南東に位置し、都筑区と隣接しています。国道や県道といった主要幹線道路を利用する自動車、東急田園都市線市が尾駅に発着する電車やバス等を主な交通手段として、比較的、ひとが集まりやすい「足」が整備された地域です。さらに、区役所や警察署などの公共機関や医療施設、金融機関、その他、スーパーや飲食店など、ひとの生活に欠かせない社会資源も整備された地域といえます。荏田西地区では平成 28 年 1 月よりコミュニティーハウスが開設され、地域住民の活動の場ができました。

駅や庁舎を少し離れると閑静な住宅地がひろがり、川や並木の緑にも恵まれています。

現在では 30～40 年ほど前の転入があった世代が民生委員や自治会役員等を担い、当ケアプラザとともに地域福祉活動が活発に行われています。地域内にも新築マンションが増加し、若い世代の転入も進んでいます。

しかし、駅周辺の勾配のある坂道については地域の特徴でもありますが、特に高齢者の気軽な外出の足止めとなっているという見方もあり、地域の高齢化とともに地域住民の行動範囲や利用できる社会資源にも制限が生じています。

地域の社会福祉協議会や民生委員をはじめさまざまな社会資源と深くかかわりを持ち、当ケアプラザが一丸となり連携しながら、顔の見える関係づくりを念頭に、地域支援を行いました。認知症カフェもその一つです。

また、子育て支援では地域柄、職場の転勤などによる転入出が多く一人で悩みを抱えている方々が多いことから、自主事業を通してコミュニケーションを図りました。

障害の子どもを抱える方からの相談では、地域で横のつながりが、より必要と感じていることから、意見交換を行う会を開催しました。

(2) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

ご相談者からの問い合わせがあれば、必要に応じた機関へ紹介するか、行政と連携を取ります。

相談内容にあった資料や情報の提供をご本人やご家族にできる体制にあります。

(3) 各事業の連携

○日常的な会話や内外の多様な会議の際に、部門間の別にとらわれず情報交換および共有を積極的に行い、当地域ケアプラザが一体となり地域の課題発見に努めました。また、事業により部門の枠を超えて協働しました。

○地域包括支援センター3 職種と地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターを含めた 5 職種の専門性を活かしながら地域の特性を踏まえた連携を目指し、それぞれの事業に生かす取り組みをいたしました。

○ケアプラザ全職員で開催する「ビオラ収穫祭」や地域活動交流部門が中心となり開催する「ビオラ文化祭」や「健康測定会」では、地域包括支援センターの企画する

地域住民へ向けた健康づくりイベントを協働で企画開催いたしました。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- 職員の資質と成長度を見極めながら、常勤・非常勤を問わずスキルアップに必要な内容の研修を個別に案内しました。
- 研修受講後は報告書を作成し、全職員に対し回覧を行い、また、特に重要なものについては会議での報告を行い、事業所全体の知識とし、ケアプラザの運営に活かしました。
- 職員の自己研鑽の為、地域の他分野事業所との事例検討会等には積極的に取り組みました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- 地域関連団体、関連機関の定例会に参加し、ケアプラザの機能や事業について情報提供を行うとともに、地域の資源や住民がさまざまな情報を共有できる機会をより多くつくることのできるよう取り組みました。
- ケアプラザカンファレンス等を通して地域の介護保険事業所、ボランティア団体との顔の見える場の提供を行いました。
- 地域のグループホームや地域密着型サービスの運営会議、推進会議に参加し、社会資源への支援と関係づくりを行いました。
- 地域のサロンや元気づくりステーションの支援等介護予防、介護保険利用、認知症啓発活動に向けた職員派遣に取り組み、地域からの小さな情報、困りごとに対応して細やかに対応を行い、地域課題の抽出をはかりました。

(6) 区行政との協働

- 地域包括支援センターと区役所福祉保健センターとの連携を意識し、地域の支援体制を構築していきました。
- 区事業には場所の提供、職員の参加を含め協働いたしました。
- 地域福祉保健計画には推進チームとしての支援のみならず「ビオラの畑」では企画、運営、作業も行い地域のボランティアと共に活動いたしました。
- カンファレンス、地域ケア会議の開催を継続し、地域課題の抽出に取り組みました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- 自主企画事業については地域の資源やネットワークを活用して共催や協力事業を進めました。ヘルスマイトさんとの食を中心とした防災や各世代別の健康講座の開催、また近隣区のウォーキングマップを活用した保健活動推進員とのウォーキングなど協力関係も定着し、毎回地域の方を中心に多くの方に参加していただきました。
- 高齢・障がい・子どもの3事業に加え地域事業など地域の皆さんの声をききながら事業を開催しました。
高齢者の交流の場「こもれ陽市茶」や子育ての親子中心の交流広場「どんぐり＆お弁当広場」部屋を開放し自由に将棋・囲碁を楽しむ「フリースペース」共にボランティアの方を中心に運営されており、どの広場もチラシや口コミで転居してきた新しい方等の参加もあり、地域での知り合作りの交流の場・情報交換の場として定着してきました。
また、今年度より囲碁講座に参加していた方で小学生に囲碁を教える「ジュニア碁会所」が立ち上がりました。土曜日の午前に地元の小学生が参加して男性ボランテ

ィアが中心となる異世代交流の場ができました。

中高年中心の運動講座「午後のストレッチ」も今年度自主化し、自主化した運動サークルも4団体となりました。それぞれのサークルが特色を生かして自主活動しており、ボランティア活動にも積極的に参加いただいております。

障害者支援事業については、「ビオラ広場」として下市ケ尾にある「となりのいえ」の障害児や学童と一緒に夏休みに広場を開催しました。多くのボランティアの方の協力・ビオラの畑でとれたスイカなども利用し余暇支援事業開催いたしました。今後も地域にもっと認知されるよう協力していきたいと思っております。

健康生きがいつくり事業としては5回目となる定年後の男性の地域での仲間作り・地域デビューを応援する人材育成事業を開催しました。今後修了生との交流をもちケアプラザのお祭りなどで協力していただきました。また畑作業「ビオラの畑」も下市ケ尾の畑が6年目をむかえ、ボランティアの方を中心に収穫祭での野菜販売や収穫した野菜・スイカなどを夏休みの広場や食事会などで提供するなど畑作業を中心に地域支援活動をおこないました。

- ケアプラザを知ってもらい、地域の方が興味を持って楽しんでいただける事業を開催しました。アンケートでご要望のあった文学講座「伊勢物語」を開催しました。文化祭・収穫祭の他、アコーディオンのよる唄声サロンや落語会などは皆さんの関心も高く複数回開催しても多くの地域の方に参加いただけて、初めてケアプラザに足を運ぶ方が増えました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 当ケアプラザの貸室の整備に努め、安全・安心に気持ちよくご利用いただけるように環境整備しました。今年度は多目的の網戸・カーテンの修繕を行いました。
- 貸室の利用率はほぼ前年度とかわらず、年間予定等を考えて多目的ホールを中心に適切にご利用いただきました。
- 当ケアプラザでの収穫祭・文化祭での活動の場の提供を行うと共にボランティア活動についての働きかけを行いました。
- 福祉保健活動団体等による交流活動として定期的に地域清掃・庭園整備を実施しケアプラザの館内や周辺のみならず多くの活動団体に参加いただきました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- 今年後も新地域人応援講座の修了生で作る「絆の会」に参加いただき、会の中で皆さんがイベントを企画したりケアプラザの祭や特技を活かして特養でのボランティアなどの協力をしていただきました。
- いきいきポイント登録会を実施しいきいきポイントの利用によるボランティア登録の呼び掛けおよび同施設内特養や近隣の施設へのボランティア派遣を積極的におこないました。
- ボランティア同士の交流会を実施し、地域の社会資源を担う連帯感の形成に繋がるよう支援しました。しかし施設内や特定のボランティア活動にとどまってしまうそれ以上の地域への広がりなどは今後の課題かと考えます。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 地域のサロンや定例会等への参加、当ケアプラザを利用する活動団体などとコミュニケーションをとることを心がけ情報を収集し、必要に応じては団体等の調整や自主事業等につなげました。
- 毎月広報誌「いきいき」または「事業のご案内」を1200部発行し町内会等を通じてケアプラザの情報提供を行ないました。
- 今年度も情報提供コーナーを整備し、貸館利用団体の活動内容を収集し「ビオラでこんな活動しています(29年度版)」小冊子を作成し地域の方に活動情報の提供を行いました。転居してきた方などが運動サークルやオカリナなどの趣味のサークルをみつけるツールとして活用いただきました。
- 地域の掲示板やホームページを活用し、事業などの情報や日程を定期的に更新し、地域に広く情報提供をしました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- 生活支援体制整備事業において、まずは、顔が見える関係作りからと考え、地域の活動に参加・出席し、事業説明・地域情報の収集を行いました。地域課題解決支援や連携体制(ネットワーク)構築を図る上でも、地域の方との交流を基本とし、地域へ積極的に出向き、情報交換・共有等を行ないました。
- 地域情報を見える化(リスト・情報分析)し幅広く活用(支えあいマップ等)出来る様に、インフォーマルサービスの見える化マップを作成しております。
- 地域交流カフェ いちがお(認知症カフェ)につきましては民生委員・地域住民の方や傾聴ボランティアの活躍により、月1回ではありますが、回数を重ねるごとに振り返りによる改善を繰り返し、地域の皆様の拠り所の1つとなれるよう、事業を行ないました。

(2) 地域アセスメント(ニーズ・資源の把握・分析)

- 地域の自治会や連合会、民児協を中心に地域アセスメントを行ないました。地域の年間行事に参加する事で地域特有の課題やニーズを把握・分析をして支援のための準備を進めました。資料の整理や分析の仕方等は、他のケアプラザの生活支援コーディネーターと連絡を取り合いながら調整しました。
- 地域の特性を把握する上で、地域の歴史・生活関連産業におけるインフォーマルサービスの情報収集を行ないました。(送迎や配送サービス等)

(3) 連携・協議の場

- ケアプラザ内において、包括会議・全職員会議の参加や朝礼等で他部署との情報共有と各事業の連携を常時行ないました。
- 地域におかれましては、各自治会の班長会・地区社協会議に出席し、協議へ参加しました。
- 生活支援コーディネーターの動き方としましては、月に1回の連絡会を通じて他のケアプラザさんの活動・情報交換を参考に自身の地域アセスメントや連携等に活かしました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- 区計画プロジェクトの参加や生活支援コーディネーターの参加するアヤム（インフォーマルサービスリスト）の取組みを行ないました。
- 地域課題の具体的な取組みとして、自治会や区民祭り等でケアプラザの周知や引きこもり予防として、横浜市の得々チラシの配布を行ないました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- 地域ケア会議を開催し、地域の課題発見と高齢者が安心して過ごせるように他機関等と連携を行ってきました。今年度も個別レベル、包括レベルの地域ケア会議を開催し地域の社会資源を把握して効率よく有効に利用していくため社会資源のネットワークの構築を行いました。

② 実態把握

- 担当地区の老人会や茶話会等の集まりに積極的に顔を出して、地域との関係づくりをすることにより、支援に繋がっていないケースの情報を得られるようにしました。
- ひとり暮らし高齢者地域で見守り推進事業による民生委員との連携によって、地域住民の情報収集を行いました。
- 当ビオラ市ケ尾地域ケアプラザでの行事やサークルに参加されている方に対しても相談支援を積極的に行いました。

③ 総合相談支援

- さまざまな相談を傾聴し、必要に応じて事実確認を行って的確に相談内容を把握し、対応しました。
- 緊急対応が必要な場合には迅速に対応し、社会資源、関係機関、各サービス等を調整します。見守りが必要な場合には関係機関、担当者の役割分担を行い、現状を把握しながら支援につなげました。
- サービスにつながらない支援困難ケースについては、区担当者とともに検討し、継続的にフォローを行いました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 地域住民を対象に青葉区版エンディングノート書き方講座を開催しました。その中で、認知症になってもその人らしい生活が送れるように意識の啓発を行いながら、成年後見制度と結びつけて、その活用を案内しました。
- あおば地域活動ホームすてっぷ・青葉区後見的支援室ほっぷと共催、「親あるうちの準備」を考える連続講座「親などの親族による後見活動の実際」を行い、親族後見をしているお母様に実際の制度利用についてお話をいただきました。
- 相談援助に関わるなかで個別に、成年後見制度・あんしんセンターの利用について

関連資料を活用して本人とその家族に案内を行いました。必要に応じて専門職やその相談機関、区役所につなげました。

② 高齢者虐待への対応

- 民生委員やケアマネジャー、関係機関と連絡を密にし、早期発見に向けて連携体制の整備を行い、疑いケースの段階で対応にあたりました。
- 虐待に関する区への報告は迅速に行い、必要に応じたネットワークミーティングに参加し、関係者間で支援の方向性と役割分担の明確化をはかりました。
- 認知症サポーター養成講座開催のなかで、虐待の対象となりやすい「認知症」について地域住民への理解を促し、虐待予防についての意識啓発を行った上で、相談窓口の周知を行いました。
- 「介護者のつどい」を開催し、介護者同士で情報共有ができる場を提供しながら、介護者の気持ちを話せる機会を設けて、介護負担の精神面の軽減や虐待の未然防止につなげました。疑いを含む虐待ケースにも声掛けをして参加を促し、実際に参加されています。

③ 認知症

- 地域住民対象に「認知症サポーター養成講座」を開催しました。介護者のつどいの参加者（兼キャラバンメイト）から認知症の妻を介護する体験談を聴く時間を設け、認知症という疾患の特性やその対応方法について、正しい理解・協力が得られるように情報提供を行いました。また、対応方法については職員がよくない例、よい例を寸劇で示し、わかりやすかったと参加者より感想をいただきました。
- 地域の方々が介護される側・介護する側共に見守り支え合える地域づくりを目指して、民生委員から寄せられた認知症が心配なケースの相談、対応を行いました。
- 市ヶ尾中学校福祉職業体験をする生徒に向けて「認知症サポーター講座」を地域の居宅介護支援事業所のケアマネジャーと共催し、認知症の人への理解を促しました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 地域包括の各専門職種がそれぞれの知識能力を生かしながら様々な関係者・関係機関と相互に連携することにより情報提供・情報収集しそれらの地域情報の分析を行い、情報の共有化、地域の社会資源を活用した支援が図れるようにしました。
- 地域の集会に参加し、地域包括支援センターの役割や介護保険制度について周知活動を実践しました。また、包括でも民生委員や各サービス事業所との交流の場を作り、顔の見える関係を構築しました。

② 医療・介護の連携推進支援

- 地域住民の方々が住み慣れた街、家で最期まで自分らしく生活するために、青葉区役所主催の医療・介護連携顔の見える場づくりへ参加し、地域の医療と介護の連携の推進をはかりました。
- 地域の医療機関と連携が持てるように、顔の見える関係づくりを目指しました。
- ケアプラザ協力医と連携を取り、地域の方々の医療的な相談にも対応いたしました。

③ ケアマネジャー支援

- 包括カンファレンスにて地域の居宅介護支援事業所の介護支援専門員へ研修や勉強会、情報提供をおこないました。
- ケアマネジャー連絡会と連携し、研修会を通し地域のケアマネジャーの支援をおこないました。
- 地域の居宅介護支援事業所の新人ケアマネ育成のために個別勉強会を開催し、また、グループで開催される勉強会等へ参加して支援しました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- 地域で認知症高齢者や一人暮らし高齢者が増加するなか、支援や介護を必要とする高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活を可能な限り継続できる体制整備のために、介護サービス、予防サービス、医療サービス、見守り等の生活支援サービス、住まいを適切に組み合わせ提供できるよう、自助・互助・共助・公助の適切な提供および資源やサービス等の開発を行いました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- 区役所の保健師と共に情報交換を行ないながら、地域の元気づくりステーションで介護予防知識の普及啓発やリーダー・サブリーダー育成支援の事業の御案内を通し、介護予防活動のグループ強化を進めました。
- 健康指導に関する総合相談の際には、相談者の既往歴や痛み・しびれの状態を考慮し、必要機関との連携とり解決につなげました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- 青葉区との介護予防普及啓発強化業務委託事業を通し、身体面だけではなく口腔衛生・栄養面にも着目した事業を計画し、専門職の参加と講義を踏まえ知識の普及啓発と意識付けをする事が出来ました。
- 青葉区は特に元気づくりステーションの活動も活発であることに注目し、認知症予防に関連した事業を荏田地域ケアプラザと合同で行い、市ヶ尾地区・荏田西地区の認知症予防知識の認知度向上に貢献しました。

5 その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について
【貸館利用の皆さんにいつでも気持ち良くお使いいただけるよう心がけました】
・ 開館日 月曜日～土曜日 9:00～21:00 日曜日・祝日 9:00～17:00
・ 休館日 年末年始 12月29日～1月3日 月1回 第3月曜日（定期清掃日）
ビオラ市ケ尾地域ケアプラザは、併設する特別養護老人ホームビオラ市ケ尾と連携協力し、「一体館」として運営管理を行いました。
特別養護老人ホームとは適宜連絡会を行い、施設利用に滞りないように施設・設備の保守管理に努めました。当施設は、来館者からきれいな施設だとの言葉をいただいておりますが、これは利用団体の皆さまの、丁寧な利用や清掃のご協力をいただいている事によります。地域の皆さまから愛され、利用されるように施設を維持しました。
① 館内の整理整頓、庭園の美化活動はボランティアさんと共に継続しました。
② 日々敷地内の巡視を実施し、放置物の撤去や建物の保全に努めました。
③ ビルメンテナンス（エレベーター含む）は委託業者による専門的な定期点検を実施しました。
④ 各法令に基づく管理を行い、年2回防災訓練等を定期に実施しました。また各利用団体とも避難訓練（避難路確認）を行いました。
⑤ 特別避難場所としての災害時応急備蓄物資の整備点検を行いました。
御意見箱を常設して来館者の意見回収や、定期的な利用者アンケートの実施により、問題点を抽出し、振り返りシートを掲示して地域の皆さまにも改善点の確認をいただきました。

(2) 効率的な運営への取組について
【使用エネルギーの削減、購入先の工夫、資源の有効活用を心がけました】
① 年間を通して省エネ対策について職員及び貸館利用団体の皆さまに呼びかけ、一丸となって取り組みました。
② 予算管理に基づく効率的な経営を行いました。また部門毎に細かな見直し、確認を行い、適正な物品管理に努め、不必要な在庫品を持たないように心がけました。
資源再利用の4Rの実行の為、所内の喚起や徹底実施を行いました。

(3) 苦情受付体制について
【じっくりとお聞きし、適切な素早い対応を心がけました】
① 苦情解決取扱規則に基づき、苦情受付担当者・解決者を設置し、利用者様またはそのご家族からの相談や苦情に対して適切かつ迅速に対応いたしました。
② 苦情の窓口としては、電話や書面、FAX等による受付を行い、ご意見箱の設置および回収により把握しました。
③ 苦情・ご意見があった際には速やかに検討会議を設け早期解決に努め、併せて掲示による結果の公表を行い、誠意を持って対応いたしました。
④ 法人内においても書面にてその内容を報告いたしました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

【行政と連携し、特別避難場所としての役目を果たしました】

- ① 特別避難場所として、災害時の応急備蓄物資を確保し、管理を行いました。
- ② 年2回防災、消火、避難、心肺蘇生法等の訓練を行い、災害時の職員役割分担、避難方法の確認を特別養護老人ホームと一体にて実施しました。
- ③ 年1回地域防災拠点訓練（3拠点）へも積極的に参加し、地域の社会資源の確認を行いました。
- ④ 災害時の職員間連絡体制を整備し（連絡網の作成）職員の役割分担の明確化を図り、緊急時に適切に対応できるように致しました。
- ⑤ 貸館利用団体に緊急時避難経路の説明を行い、訓練を実施しました。

(5) 事故防止への取組について

【マニュアル確認と共に頻回に声を掛け合いました】

- ① 防犯、リスクマネジメントの研修を実施し、危機管理の重要性や意識付けを行い、事故防止に努めました。
- ② 日報に「ヒヤリハット」を記載し、部署内で共有化を図り、事故防止に努めました。
- ③ 日常的に整備・用具の保守点検を実施し、危険個所を発見した際は迅速な対応を行いました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

【個人情報漏えいの事故防止にチームで対応しました】

- ① 個人情報の理解
個人情報保護に関する研修を実施し、声掛けを行い、意識付けを繰り返しました。また研修修了者名は誓約書にて区役所に提出しました。
- ② 個人情報の遵守
職員会議において個人情報保護対応の遵守、漏えいの事故防止については繰り返し喚起を促しました。
- ③ 個人情報の管理
パソコンは終業時収納庫を利用し、夜間は事務室の施錠場所にて保管いたしました。またUSBメモリーについては、極力利用しないこととし、保管は規程の場所を設け、利用者は利用開始時、収容時に管理帳へ記入して管理しました。
- ④ 管理者への許可と報告
個人情報書類をやむなく持ち出す場合にはその内容と目的を管理者に申し出、許可を得、返却時には報告を行いました。また個人情報持参での利用者宅からの直接の帰宅は行わないこととしました。
- ⑤ 携帯電話等への対応
会社用携帯電話を用意し、外出時携帯する場合に備えて、暗証番号の入力設定等紛失時を想定しての対応を考えました。

(7) 情報公開への取組について

【求められた記録や資料は提示し、ご意見箱、アンケートの回答は掲示し、皆様に公表致しました】

- ① 個人情報に関する内容以外は基本的に公表致しました。
 - ② 定期に開催する運営協議会において、事業計画や事業報告を説明し、ケアプラザの活動内容の公開を行いました。
 - ③ 広報誌「いきいき」の発行やケアプラザお知らせ、自主事業等のチラシ作成及び配布、所内掲示、ホームページ作成を行いました。
- 閲覧用の決算書を常設し、利用者様の要望に応じて公開いたしました。

(8) 人権啓発への取組について

【人権問題の現状を認識しました】

- ① 人権にかかわる研修に参加しました。
- ② 研修内容は職員会議の場や研修報告書を回覧し情報を共有しました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

【ケアプラザをいつもきれいに守ります】

- ① 「ヨコハマ 3R 夢」に基づき、ゴミの発生の抑制・分別・収集を所内で徹底し、再利用できるものは活用しました。
- ② エネルギー資源（ガソリン・光熱費）の削減に所内一丸となり取り組みました。
- ③ サブコーディネーターを中心に毎日の美化清掃を行いました、また利用団体や法人内近隣施設と協働し、近隣のゴミ拾い、美化活動に定期的に取り組みました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

主任介護支援専門員 1名（管理者兼務）
看護師 1名（常勤）
社会福祉士 1名（常勤）

《目標に対する成果等》

- 支援計画に基づき、サービスの提供及びインフォーマルサービス提供等の支援を行いました。
- 利用者にとって介護保険制度内容の説明が分かりやすいように工夫しました。
- 地域居宅介護支援事業所やサービス事業所との顔の見える関係づくりに努力しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 地域の高齢者が住み慣れた地域で質の高いサービスを利用しながら、安心して自立した生活を送れるように区役所、地域事業所とも連携し支援しました。
- 生活支援コーディネーターと連携を取り、地域のインフォーマル調査を行い、社会資源把握に努めました。
- 介護状態に移行する事がないようご本人と共に介護予防計画を立て、生活のサポートを行いました。
- 保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーが連携を取り医療介護と各制度を利用していただけるようにしています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
232	226	216	207	198	211
10月	11月	12月	1月	2月	3月
208	213	197	202	207	196

●居宅介護支援事業

《職員体制》

主任介護支援専門員 1名（管理者兼務）
介護支援専門員 2名（常勤専任2名）

《目標に対する成果等》

ご利用者様のニーズの把握を適切に捉え、最適なサービスを導入する事により要介護状態の方の悪化予防及び改善を目指し住み慣れた自宅で自立した生活を過ごす事が出来る様に個人として自己研鑽を積むことを目標としました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- サービス提供地域外に関わる交通費

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ご本人様、介護者様の心理を推察し、きめ細やかな配慮に努めました。
- 包括支援センター、区役所等関連機関、地域事業所と情報共有、連携体制を構築してました。
- 地域近隣の新しい社会資源等の情報収集を行い、常に最新の情報をお届けできるよう務めました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
72	72	65	53	58	50
10月	11月	12月	1月	2月	3月
54	52	48	45	46	44

平成28年度「ピオラ市尾地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	27,648,854	△ 245,427	27,403,427	27,403,427	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	456,600	△ 456,600	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	27,648,854	△ 245,427	27,403,427	27,860,027	△ 456,600	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,689,000	0	10,689,000	10,170,879	518,121	
本俸	7,792,542		7,792,542	7,792,542	0	
社会保険料	827,610		827,610	827,610	0	
手当計	1,518,057		1,518,057	1,518,057	0	
健康診断費	32,670		32,670	32,670	0	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
その他	518,121		518,121	0	518,121	
事務費	640,800	0	640,800	1,036,568	△ 395,768	
旅費	51,633		51,633	51,633	0	
消耗品費	23,915		23,915	419,683	△ 395,768	
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信費	77,379		77,379	77,379	0	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	276,516		276,516	276,516	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	0		0	0	0	
振込手数料	296		296	296	0	
リース料	0		0	0	0	
手数料	972		972	972	0	
地域協力費	44,000		44,000	44,000	0	
その他	166,089		166,089	166,089	0	
事業費	1,187,829	0	1,187,829	818,036	369,793	
運営協議会経費	42,000		42,000	29,528	12,472	予算-指定額
指定管理料充当 事業	1,145,829		1,145,829	788,508	357,321	
管理費	4,123,284	0	4,359,851	3,788,115	2,290,538	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算-指定額
光熱水費	1,718,802	0	1,718,802	1,718,802	1,718,802	
電気料金	1,718,802		1,718,802		1,718,802	
ガス料金			0		0	
水道料金			0		0	
清掃費	1,351,653		1,351,653	1,351,653	0	
修繕費	474,000	0	474,000	228,573	245,427	予算-指定額
機械整備費	33,725		33,725	33,725	0	
設備保全費	446,502	0	446,502	446,502	0	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	62,334		62,334	62,334	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	384,168		384,168	384,168	0	
雑費	0		0	0	0	
その他	335,169		335,169	8,860	326,309	
公租公課	855,120	0	855,120	813,670	41,450	
事業所税			0		0	この列は入力しない
消費税	855,120		855,120	813,670	41,450	
印紙税			0		0	この列は入力しない
その他()			0		0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	この列は入力しない
当該施設分			0		0	この列は入力しない
二一ス対応費			0		0	この列は入力しない
支出合計	17,496,033	0	17,732,600	16,627,268	2,824,134	
差引	10,152,821	△ 245,427	9,670,827	11,232,759	△ 3,280,734	

自主事業費収入	1,145,829		1,145,829	0	1,145,829	予算-指定管理料に含む
自主事業費支出	1,145,829		1,145,829	788,508	357,321	
自主事業収支	0	0	0	△ 788,508	788,508	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	0	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	0	

**平成29年度「ピオラ市ケ尾地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,055,316	△ 443,241	22,612,075	22,612,075	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	150,360		150,360	150,360	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	△ 984,430	4,804,570	4,804,570	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	28,994,676	△ 1,427,671	27,567,005	27,567,005	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,519,000	0	25,519,000	22,529,423	2,989,577	
本俸	13,488,182		13,488,182	13,488,182	0	
社会保険料	2,874,886		2,874,886	2,874,886	0	
手当計	6,132,705		6,132,705	6,132,705	0	
健康診断費	33,650		33,650	33,650	0	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
その他	2,989,577		2,989,577	0	2,989,577	
事務費	365,143	0	365,143	2,383,863	△ 2,018,720	
旅費	61,703		61,703	61,703	0	
消耗品費	0		0	306,424	△ 306,424	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信費	234,180		234,180	481,182	△ 247,002	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	21,000		21,000	21,000	0	
振込手数料	1,596		1,596	1,596	0	
リース料	0		0	0	0	
手数料	0		0	872,640	△ 872,640	
地域協力費	46,664		46,664	46,664	0	
その他	0		0	592,654	△ 592,654	
事業費	2,015,075	0	2,015,075	478,238	1,536,837	
協力医	630,000		630,000	252,000	378,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	925,715		925,715	22,976	902,739	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	150,360		150,360	101,245	49,115	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	102,017	206,983	予算:指定額
管理費	1,095,458	0	1,158,343	1,006,967	608,273	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	456,897	0	456,897	456,897	456,897	
電気料金	456,897		456,897	0	456,897	
ガス料金	0		0	0	0	
水道料金	0		0	0	0	
清掃費	359,300		359,300	359,300	0	
修繕費	126,000		126,000	60,759	65,241	予算:指定額
機械警備費	8,965		8,965	8,965	0	
設備保全費	118,690	0	118,690	118,690	0	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	16,570		16,570	16,570	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	102,120		102,120	102,120	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	88,491		88,491	2,356	86,135	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他()	0		0	0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分	0		0	0	0	
当該施設分	0		0	0	0	
二一ス対応費	0		0	0	0	
支出合計	28,994,676	0	29,057,561	26,398,491	3,115,967	
差引	0	△ 1,427,671	△ 1,490,556	1,168,514	△ 3,115,967	

自主事業費収入	1,385,075			0		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	1,385,075			226,238		
自主事業収支	0			△ 226,238		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **ピオラ市ヶ尾地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
介護者のつどい「癒しの中国茶体験」	①介護者	7178	地活				4490		2688
	②11名		包括						
			生活						
介護者のつどい「介護の疲れを癒すアロマテラピー」	①介護者	9179	地活				4490	3524	1165
	②15名		包括						
			生活						
介護者のつどい「知っておきたい薬局の利用法」	①介護者	2701	地活						2701
	②16名		包括						
			生活						
介護者のつどい「エンディングノートを活用する」	①介護者	3252	地活						3252
	②13名		包括						
			生活						
認知症サポーター養成講座	①地域住民	666	地活					666	
	②39名		包括						
			生活						
東市ヶ尾新生クラブ	①老人会	0	地活						
	②23名		包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

施設名

ビオラ市ケ尾地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額						
		総経費	収入			支出		
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
こもれ陽「市茶」	①地域高齢者	3939	地活	0	0	0	3939	0
	②212人		包括					
	③イベント時100円程度		生活					
ビオラの畑	①地域一般	2174	地活	0	0	0	2174	0
	②211人		包括					
	③無料		生活					
交流ひろば 「どんぐり」&「お弁当広場」	①乳幼児親子	15408	地活	0	0	0	15408	0
	②193人		包括					
	③無料		生活					
フリースペース 「囲碁・将棋」	①地域一般	0	地活	0	0	0	0	0
	②198人		包括					
	③無料		生活					
利用団体懇親会	①貸館団体	1182	地活	0	0	0	1182	0
	②49人		包括					
	③無料		生活					
春のコンサート	①地域一般	1894	地活	18000	0	0	11894	8000
	②42人		包括					
	③500円		生活					
エンジョイ! 折り紙講座	①概ね60歳以上の地域の方	0	地活	56000	0	0	56000	0
	②128人		包括					
	③500円		生活					
パパの子育て教室	①初めて親になる方	0	地活	0	0	0	0	0
	②351人		包括					
	③無料		生活					
庭園・清掃活動	①貸館団体	21821	地活	0	0	0	21821	0
	②76人		包括					
	③無料		生活					
囲碁講座	①地域一般	0	地活	0	0	0	0	0
	②218人		包括					
	③無料		生活					
ビオラ文化祭	①地域一般	16044	地活	0	24000	0	40044	0
	②400人		包括					
	③無料		生活					
ビオラ食事会	①70歳以上単身者	24846	地活	46200	0	0	66046	5000
	②106人		包括					
	③500円		生活					
ビオラ朗読の会	①地域一般	3000	地活	0	0	0	0	3000
	②32人		包括					
	③無料		生活					
みんなde! ウォーキング	①地域一般	2450	地活	0	0	0	770	1680
	②57人		包括					
	③無料		生活					
午後のストレッチ	①概ね45歳以上	8600	地活	57000	0	60000	0	5600
	②230人		包括					
	③3000円		生活					
月いち 土曜体操講座	①概ね45歳以上	18512	地活	59200	0	72000	0	5712
	②178人		包括					
	③3200円		生活					

チビッ子工作教室 (春・夏休み)	①小学生	9460	地活	9200	0		12660	6000
	②134人		包括					
	③100円		生活					
親子ピクス	①乳幼児 & 保護者	30376	地活	27100	0	54000	0	3416
	②152人		包括					
	③300円		生活					
モンゴルの民族楽器 「馬頭琴の調べ」	①地域一般	5710	地活	5000	0	0	7710	3000
	②61人		包括					
	③100円		生活					
園芸講座 (夏・冬)	①地域一般	0	地活	59000	0	0	59000	0
	②33人		包括					
	③2000円		生活					
古典を楽しむ「伊勢物語」	①地域一般	27200	地活	37800	0	65000	0	0
	②174人		包括					
	③2600円		生活					
唄声サロン ～アコーディオンと共に～	①地域一般	25896	地活	14900	0	0	16796	24000
	②173人		包括					
	③100円		生活					
あなたの食生活大丈夫	①20代・30代成人男女	0	地活	0	0	0	0	0
	②37人		包括					
	③無料		生活					
ビオラ広場① ボランティア講座	①地域一般	0	地活	0	0	0	0	0
	②13人		包括					
	③無料		生活					
ビオラ広場② 夏休み広場	①障害児(小学～中学生)	0	地活	0	0	0	0	0
	②51人		包括					
	③無料		生活					
よこはま シニアボランティア登録会	①65歳以上の方	0	地活	0	0	0	0	0
	②17人		包括					
	③無料		生活					
赤ちゃんと一緒に楽しむ アロマ生活	①乳幼児 & 保護者	5000	地活	6500	0	5000	6500	0
	②30人		包括					
	③500円		生活					
ビオラ映画会	①地域一般	27205	地活	0	0	0	27000	205
	②71人		包括					
	③無料		生活					
あおば落語会 (納涼・新春)	①地域一般	12000	地活	0	0	0	0	12000
	②179人		包括					
	③無料		生活					
童謡・唱歌の会	①地域一般	△1700	地活	1700	0	0	0	0
	②25人		包括					
	③無料		生活					
ビオラ収穫祭	①地域一般	46911	地活	0	27400	5000	68751	560
	②400人		包括					
	③無料		生活					
ゆたかな食事で健康長寿	①概ね65歳以上の方	0	地活	0	0	0	0	0
	②15人		包括					
	③無料		生活					
新地域人応援講座	①概ね60歳以上の地域の	3517	地活	2600	0	0	6117	0
	②5人		包括					
	③600円		生活					
エリア別子育て意見交換会 @ビオラ市ケ尾	①地域関係者	0	地活	0	0	0	0	0
	②16人		包括					
	③無料		生活					

ジュニア基会所	①小学生	5370	地活	5000	0	0	10370	0	
	②10人		包括						
	③500円		生活						
備蓄品Cooking	①地域一般	1348	地活	0	0	0	1348	0	
	②28人		包括						
	③無料		生活						
救急法を学ぼう	①地域一般	0	地活	0	0	0	0	0	
	②18人		包括						
	③無料		生活						
ボランティア親睦会	①ボランティア	12987	地活	0	0	0	12987	0	
	②20人		包括						
	③無料		生活						
荏田西・市ヶ尾地区 障害児者支援のための ネットワーク	①地域の障害者支援団体	2000	地活	0	0	0	0	2000	
	②12人		包括						
	③無料		生活						
		333090		0	405200	51400	261000	448517	80173

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業報告書

ビオラ市ケ尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい 「癒しの中国茶 体験」+茶話会	産業カウンセラーの資格を持ち、自宅でティーサロンを開いている講師をファシリテーター役として、茶話会中心に開催。11名分の中国茶茶器を講師に持参いただき、3種類のお茶を賞味しながら、参加者の思いを参加者同士で共有。	平成29年4月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい 「介護の疲れを 癒すアロマテラ ピー」+茶話会	自宅でアロマスクールを開いている講師を招き、アロマの効果・効用を学ぶ。会の中で実際にペパーミントの葉を蒸留した精水を数滴お茶に入れて味わったり、天然塩に講師持参のアロマを数滴、各自が好みの配合で加えて入浴剤として持ち帰った。	平成29年7月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい 「知っておきた い薬局の利用 法」+茶話会	地域で古くから薬局を営み、当ケアプラザの運営推進協議会にも出席をいただいている薬剤師に講師を依頼し、薬とのつきあい方を中心に副作用や飲み方について改めて知識を得る。患者の医療に関する相談窓口は医師だけではなく、薬剤師にも相談ができることを知る。	平成29年10月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい 「エンディング ノートを活用す る」+茶話会	区役所より発行された青葉区版エンディングノートについて、包括社会福祉士が説明。何のためにどのように書き、どのように使うか、作成の経緯を含めて、活用法を案内した。茶話会のなかで参加者の話を情報として共有。	平成30年2月

平成29年度 自主事業報告書

ビオラ市ケ尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	地域住民に認知症への理解を深めるために、認知症の妻を介護している介護者のつどい参加者から、その体験談を視聴し、認知症の疾患の特性や対応方法についての実際を学ぶ。また、対応方法について、ケアプラザ職員がよくない例・よい例を寸劇で具体的に示し、認知症への理解と協力が得られるよう情報提供を行なう。	平成29年2月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
老人会向け出張講座	・下市ケ尾老人会：新生クラブ」 「認知症の妻との暮らし」講話/神山敦志氏 参加者/老人会メンバー（男性14名、女性9名） 認知症の妻を介護している夫の介護体験談を聴き、認知症の人と家族を理解する。	平成29年2月

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

横浜市ビオラ市ケ尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こもれ陽「市茶」	<p>高齢者の地域の居場所づくりとして気軽に立ち寄っていただきお茶でも飲みながら数時間を過ごしていただけるサロンを目指す。</p> <p>月2回 第2月曜の午前・第4木曜の午後に開催 予約なしの出入り自由</p> <p>ケアプラザは会場の準備等のお手伝いに回り、地域のボランティアの方を中心に参加者のやりたいことを聞きながらテーマを簡単に決め自由に過ごす。</p> <p>今年度は月1回（月曜）が趣味・唄・季節イベント等を行い、もう1回（木曜）が五行歌作りを行い文化祭・収穫祭に作品を出展した。</p>	<p>毎月2回 （第2月曜 ・第4木曜） 24回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ビオラの畑	<p>地域の方々から畑ボランティアを募集し、一緒になって苗植えから収穫まで農作業を通して交流を持ち地域の結びつきを深める。</p> <p>第2・第4金曜日を基本の作業日とする。</p> <p>11月の収穫祭・7月のジャガイモ販売にむけジャガイモやサツマイモを中心に季節の作物をそだてる作業をおこなう。</p> <p>収穫祭にはボランティアとして参加し地域交流を行う。収穫した野菜を子育てなどの事業に利用したり、季節の草花を作り、ケアプラザ内に飾ったりの活動を行った。</p>	<p>毎月2回 （第2・第4 金曜日） 21回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
交流ひろば 「どんぐり」 & 「お弁当広場」	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の親子が中心に乳幼児から高齢者まで異世代の方が触れ合いおしゃべりできる広場を目指す ・月1回 第1金曜日に開催予定。 ・自由に遊べるフリースペースとし、職員とボランティアで見守る。 ・終了後「お弁当広場」としてお昼時間に部屋を開放する。 ・貸館利用サークルによる読み聞かせ等のミニイベントを開催。 	<p>毎月1回 （第1金曜日） 10回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フリースペース 「囲碁・将棋」	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の方の外出する機会を増やし、仲間作りのきっかけの場所とする。 ・月2回 第2・第4月曜日 13:00～16:00 開催 ボランティアの方に指導をお願いし、研修室を開放して地域の方に囲碁や将棋を楽しんでもらう。	月2回 (原則第2・4 月曜日) 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
利用団体懇親会	利用団体相互の親睦を深めると共に貸館利用にあたっての注意伝達や報告を行う。 4/13 I 団体とII 団体の2グループにわかれ2回開催。 貸館利用状況の報告と確認事項の伝達・文化祭・更新手続きについて説明。 貸館サークル同志の交流とともに非常時の避難方法について貸館利用者との共有する。	4月13日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
春のコンサート	地域の方に春の午後のひとときクラシック音楽に親んでもらうとともに、外出する機会を増やし、地域の方にケアプラザを知ってもらう。 毎年恒例のコンサート 4/23 ボランティアの方(小川博子さん他3名)による弦楽四重奏クラシックコンサート ケーキとお茶の提供	4月23日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エンジョイ! 折り紙講座	地域の折り紙の得意な方をボランティアにむかえ、皆で楽しみながら手を動かす。 単純な折り方でなく、ちょっと複雑な折り紙の折り方に挑戦し楽しむ。 毎月1回(月曜・火曜コース)開催、基本どちらのコースも同じものを作成する。	毎月1回 初心者第2(月) 継続 第3(火) 21回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパの子育て教室	初めてパパになる方を対象にビデオ視聴・先輩パパの体験談・妊婦疑似体験等の体験実習をとおして、パパになる準備をする。 奇数月の第2日曜日に年6回開催。 ビデオ視聴「パパへのメッセージ」 先輩パパの体験談 体験実習・妊婦疑似体験・赤ちゃんの沐浴・抱き方等交流会	奇数月第2日曜日 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
庭園・清掃活動	ボランティアによる庭園作りと貸館利用者による地域清掃・庭園造りを行いボランティア精神を養うとともに地域の方々や貸館利用者との親睦をはかる。 月1回を定例とし4階の庭園の整備や花壇の花植え・ゴーヤのカーテン作り等の活動を行う。5/25 ボランティアの方を中心に貸館利用者にも声をかけ花壇の花植えなどをおこなう。 5/29 庭園整備・ゴーヤのカーテン作り ケアプラ周りの雑草取り・枯れ葉拾い。4階庭園の整備・チューリップの球根植え 11/2 収穫祭に向けて 駐車場周辺&4階庭園清掃	庭園は 毎月第3火曜日 8回 清掃は 5月29日・11月2日 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁講座	地域の子供から高齢者まで初心者を対象とした囲碁講座。地域の交流の場となることを目的とする。 土曜の午後に地域の囲碁有段者がボランティアとして指導してくれる。部屋をフリースペースとして開放し小学生から大人まで幅広い層を対象とする。	毎月2回 (第2・第4土曜日) 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ビオラ文化祭	貸館利用者の方の日頃のサークル活動の成果を披露する場所の提供とケアプラザをもっと地域の方に知ってもらう。 6/5 貸館利用者団体による発表と作品展示。 地元のパン・団子の販売。中途障がい者グループ（青葉の風）による製品販売。 地域内のグループホームの方を招待（3施設）	6月4日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ビオラ食事会	<p>地域の70歳以上の一人暮らしの方対象に外出の機会を増やし皆でおしゃべりをしながら食事の楽しさを味わってもらおう。</p> <p>中高年男性の作る食事提供や法人の給食に工夫を加え手作りの味及び作り手とお客様との一体感などの交流の場としても位置つける。ミニイベント開催。</p> <p>1回目（夏の食事会） 6/22 夏の食事会 2回目（冬の食事会） 12/24 クリスマス会 3回目（春の食事会） 3/15 男性の料理グループ「旦」による料理と手品</p>	6月22日・12月24日・3月15日 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ビオラ朗読の会	<p>地域の方に朗読に親しんでいただき、まだケアプラザを利用したことがない方に足を運んでいただく。</p> <p>6/15 地域で活動している朗読の会「グループ青冬」とケアプラザと一緒にテーマを決めて話し合いながら地域の方に楽しんでもらえる朗読を行う。</p>	6月15日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなde! ウォーキング	<p>誰でも簡単にできるウォーキングを通じて地域交流や健康維持・ストレス解消することを目的とする。市ヶ尾地区の保健活動推進委員と協力で実施。</p> <p>青葉区と都筑区のウォーキングコースを市ヶ尾保健活動推進員の協力の元地域の方と一緒に歩く。</p> <p>1回目 5月24日 フラワーネックレス青葉2017事業の一環である「桜満開お花見コース」から「荏子田太陽公園」のバラ園をメインに歩く 2回目 10月19日 CP～里山ガーデン 雨天中止 2回目 3月16日 CP～保木桃の里</p>	5月24日・3月16日 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
午後のストレッチ	<p>平日の午後2（15時～17時）の枠を利用して、夕方のお買い物前にストレッチ運動講座を開催する。対象を40代からの層にケアプラザを利用してもらうことを目的とする。</p> <p>平日の午後2（15時～17時）の枠を利用してのストレッチ運動講座。対象を40代からのあまりケアプラザに関心のない新しい層に利用してもらう。月2回（全10回コース）</p> <p>第1回 5/30～9/19 全10回コース 第2回 10/17～1/16 全6回コース 2月以降自主化</p>	1回目 4/12～（全10回コース） 2回目 9/20～（全6回コース）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
-----	-------	---------

<p>月いち 土曜体操講座</p>	<p>土曜日の午後の時間帯を利用した運動講座。お勤め等で土日しか地域にない層にケアプラザをしてもらうきっかけづくりを目的とする。 平日にはこれない地域の方を対象に日頃運動をしていない方に月に一回から運動をはじめてもらい立位のハマトレ体操を中心に日常生活でも体を動かせるようになる内容とする。</p>	<p>原則第4土曜日 12回</p>
-----------------------	---	------------------------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>チビッ子工作教室</p>	<p>夏休み・春休みを利用しての小学生を対象とした工作教室を開催し小学生にもケアプラザを知ってもらう。 夏休み・春休みを利用しての小学生を対象とした工作教室。あおば科学探偵団の協力で身近なモノを利用して手作りの工作作りを目指す。 春休み4月4日「星空アートと手裏剣作り」 夏休み8月7日「やじろうべえとペットボトルの砂時計」 午前と午後2回にわけて開催 一般の小学生と地域の2つの学童保育が参加</p>	<p>4月4日・8月7日 2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>親子ピクス</p>	<p>親子でスキンシップをとりながらの運動講座。赤ちゃんを荷物にし筋力トレーニングなど、今の月齢の子供としかできない運動を行う。 4月に体験会を開催。その後月例を考慮してシリーズで開催予定。 講師：川田貴美恵（日本体育協会公認エアロビック指導員） 4月14日 6ヶ月～1歳（歩けない伝え歩き） 4月28日 1歳6ヶ月～2歳6ヶ月（歩ける） 6月23日 7月14日 2回シリーズ 10月27日 11月27日 12月22日 1月12日 3月9日</p>	<p>月1回原則第4金曜 9回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>モンゴルの民族楽器「馬頭琴の調べ」</p>	<p>地域の方に外国の文化に触れていただく機会をもつ。 今回は馬頭琴の由来にまつわるモンゴル民話のスーホーの白い馬を馬頭琴の演奏と語り聞かせを行う。 ステップ国際理解会長・市が尾連合会長の柏村氏によるスーホーの白い馬の読み語りとモンゴル留学生の馬頭琴の演奏会 5月13日開催。</p>	<p>5月13日</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
園芸講座	<p>フラワーネックレス青葉2017の関連事業として開催。夏に向けて清涼感のあるこけ玉とこけ山作り。ケアプラザを利用していない地域の層をケアプラザに呼び込むきっかけづくり。</p> <p>6月5日 山野草を使ったこけ玉とこけ山作り 高橋園芸 高橋佳晴氏 12月19日 クリスマス・お正月の寄せ植え 高橋園芸 高橋佳晴氏</p>	6月5日・12月19日 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
古典を楽しむ「伊勢物語」	<p>古典文学入門のきっかけを作る。 新しい地域の層をケアプラザに呼び込むきっかけ作り。</p> <p>6月21日～ 13回シリーズ 伊勢物語の入門編 講師 石毛 慎一</p>	6月12日～ 13回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
唄声サロン ～アコーディオンと共に～	<p>アコーディオンに合わせて高齢者を中心に懐かしい歌を唄い、また唄うことを楽しみに外出する機会をつくる。 歌詞カードをもとにアコーディオンにあわせて皆でうたう。 アコーディオン演奏：グループフィル・アルモニア 年4回を予定 7月4日/10月2日/12月4日/3月23日</p>	7月4日・10月2日 12月4日・3月23日 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あなたの食生活大丈夫	<p>20代30代の若い世代から生涯元気で過ごすために生活習慣や食生活を見直して改善することを目的とする。</p> <p>7/9 多くの若い世代に参加いただくためにケアプラザで開催しているパパの子育て教室の参加者を中心にヘルスマイトと共催。簡単朝食メニュー・味噌汁塩分測定・野菜計量・試食会</p>	7月9日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ビオラ広場① ボランティア講座	夏休みの障害児の広場を開催するにあたり、参加するボランティアの方を対象にボランティア講座を開催し、地域ぐるみでささえあえる地域を作る一助になることを目的とする。 7/25 夏休みの広場を開催するにあたり、ケアプラザに登録しているボランティアさんを対象に青葉区の障害児者支援の現状・障害者への接し方・地域の放課後障害施設の活動や状況の説明するボランティア講座を開催。	7月25日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ビオラ広場② 夏休み広場	地域にある放課後デイとなりのいえの障害のある子供の夏休みの広場を開催。地域の方に地域に障害児の居場所があることをしてもらい子供達と交流を持つ機会を作る。また、子供達にもケアプラザを知ってもらい広い場所で楽しんでもらう場の提供をはかる。 8/4 ボランティアさんと一緒に広場を開催し各コーナーを作り楽しむ。 玉入れ・キーホルダー作り・もぐらたたき・ヨーヨーすくい・スイカ割りなど。	8月4日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティア登録会	横浜市の介護支援もボランティアポイント事業の登録会をケアプラザで開催する。 65歳以上の地域の方にいきいきポイントを広めると共にボランティア活動に参加していただけるように支援する。 生きがいづくりの促進をはかる。 いきいきポイントの登録会をケアプラザで開催。同じ建物に入っている特養の協力もえて開催する。 9月28日開催	9月25日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
赤ちゃんと一緒に楽しむアロマ生活	赤ちゃん和妈妈の暮らしの中にアロマを取り入れアロマセラピーでサポートする。 9/29 地域にお住いで3人ほ子供のお母さんでもある山下美紀氏（日本アロマ蒸留協会理事）による講座を開催。アロマセラピーについて・アロマのスプレー作り	9月29日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ビオラ映画会	遠くまで外出しづらい地域の方に近くで良質な映画を鑑賞し、語り合う機会を提供する。 ケアプラザ認知のために定例事業とする。 9月29日に「殿、利息でござる」を上映	9月29日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あおば落語会 (納涼・新春)	真夏の納涼・新春に落語を愉しんでもらい、ケアプラザを地域の方に身近な場所として認知してもらおう。 貸館利用グループ「聞かせて下さいあなたのふるさと」の協力による落語会。 寄席の雰囲気や飽きもなめながら区内在住のボランティアの落語家の方の落語を愉しむ。 毎年 納涼・新春の会として8/28 H30/1/28 8月・1月の第4日曜日に開催。	8月28日・1月28日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
童謡・唱歌の会	童謡や唱歌を皆で一緒に歌うことでの地域での仲間作りと外出する機会をふやす。 10/20 オカリナの会「オオルリ」の演奏に合わせて懐かしい童謡や流行歌を皆で楽しく唄う。	10月20日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ビオラ収穫祭	収穫祭を地域との交流を深めるケアプラザの「祭」とする。 ケアプラザの畑の活動報告と収穫野菜の販売を中心にイベントを開催し、ケアプラザの周知と地域交流を目的とする。 11/10(金)開催 野菜販売 包括ブース(体力測定等)、物々交換会、マンドリン/和太鼓の演奏イベント・地元の方の協力による餅つき 親子広場、筋肉量測定などを地域・貸館利用者やボランティアの方の協力をえて開催。	11月10日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子の音楽広場	収穫祭の中の子育てイベント。親子で楽しみ「楽器・音楽を通じて赤ちゃんの成長を見守り・子育てを応援する」ことを目的とする。 収穫祭の子育て広場として貸館利用グループ「ミュージックサークル和」に依頼。1歳以下と1歳以上の2グループで2回にわけてわらべ歌で遊んだり親子で楽器の音に親しんだりしてゆったりすごす広場。	11月10日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆたかな食事で健康長寿	地域で活躍するヘルスマイトとの共催事業。 ゆたかな食事で健康長寿・食生活を充実させて元気で長生きをテーマにし、元気で長生きするために食事・運動・社会参加が大事な要素であり、その食事に関して正しい情報を知って生活に役立てることを目的とした。 11月24日に開催。バランスの良い食事で低栄養予防「減塩」「低栄養と予防」「ロコモ予防体操」調理実習と試食を実施。	11月24日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新地域人応援講座	定年退職後の地域を担っていく世代や団塊の世代・元気高齢者などに住んでいる地域を知ってもらい地域での仲間づくりと活躍するきっかけづくりを応援する。 12月から2月まで全6回開催。 60歳代から70歳代の定年後の男性を対象。 12/12 昼食づくり 12/26 運動講座 1/16 うどん作り 1/23 地域を歩こうウォーキング 2/13 救急法講座 2/27 おやつ作りとまとめ	12月12日～ (全6回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エリア別子育て意見交換会@ビオラ市ヶ尾	地域の子育てを支えるためのゆるやかなネットワークづくり 10月24日開催。 ・自己紹介および活動紹介 ・市ヶ尾・荏田西エリアの子育ての現状 ・意見交換会	10月24日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ジュニア碁会所	地域で碁を指している方々がサークルを作り、地域の子供（小学生中心）に碁を教える多世代交流を目的とする。地域の囲碁好きな大人（はじめての碁の会）が小学生に碁を教える。 毎月第1・第3土曜日 10:00～11:45	1月20日～ 月2回 (第1・第3土曜)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
備蓄品Cooking	地域のヘルスメイトさんとの共催による備蓄品を利用したの講座。家庭で備蓄している材料を利用したの調理法と食事の提案。 1/26 ケアプラザで消費期限が近づいている備蓄品を中心に備蓄している材料を利用したのミニ調理実習と試食。備蓄品の活用方法を通じて再認識してもらう講座 火を使わないカレーライス・キャロットライス・味噌汁スープを実習 お米はケアプラザの賞味期限前の備蓄品使用。	1月26日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
救急法を学ぼう	救急時に備えて、家庭にある身近なものでできる応急手当の方法を地域の方に学んでいただく。 2/13開催 日本赤十字スタッフによる救急法講座。三角巾の使用法・止血方法を学ぶ	2月13日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア親睦会	館内で活動しているボランティアの方が年に1回一同に介して交流をもち、意見交換をおこなう。 3/6開催 茶話会形式でボランティア同士の交流とケアプラザ職員・特養相談員との意見交換を行う。	3月6日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
荏田西・市ケ尾地区障害児者支援のためのネットワーク	荏田西・市ケ尾地域で障害に携わっている団体の方がお互いに顔見知りになり、課題・情報の共有をするネットワーク作り 3/7開催。 今年度は支援者のネットワーク作りから地域の小学校・中学校の個別支援級の保護者を対象に「グループホームについて」の講演と茶話会を開催。講師に鈴木 伸氏（グループホームぽけっと運営委員会委員長）よびマザーズジャケットと共催で茶話会を開催する。	3月7日

事業名	目的・内容	実施時期・回数